



広島通信病院だより

No.124 2017.4

一人ひとりの快適な排泄ケアの 実現に向けて

看護部長 河野 砂百合

日本は世界に例をみないスピードで少子超高齢社会が進展し、2015年の平均寿命は男性80.79年、女性87.05年と世界トップクラスの長寿国となっています。また、400万人～500万人の人が尿失禁で悩んでいるとの報告もあり、尿失禁の頻度は加齢とともに増えていきます。排泄は、食べることと同じように生きていくための基本的な営みであり、最期の時を迎えるまで人の手を借りずに自分自身でしたい行為であり、人間らしさを守る最後の砦ともいえます。

当院では、病気や障害により排泄に誰かの手を借りなければならない状況になっても、自分で排泄した時と同じように気持ちよく、尊厳が保たれたケアを受けていただきたいという思いから、2年前に排泄ケアサポートチームを設置し、患者さん一人ひとりに合わせた個別ケアを実践しています。

これまでの、排泄物を片付ける、おむつを換えるという業務ではなく、常に患者さんや介護者の方の立場に立ち、排泄パターンや睡眠のリズムをアセスメントし、適切な排泄ケア製品を選択し使用しています。患者さんは、1枚使いで下着のような快適さと十分な吸収力とさらさらのドライ感で、夜間も安心してぐっすり眠ることができています。

個別排泄ケアは、人間の尊厳を守り、患者さんの生きることへの意欲と回復力、自律を支えることに繋がります。今後は、当院で確立した排泄ケアを切れ目なく実施できるように地域につないでいきたいと考えています。排泄ケアでお悩みの方は、地域医療連携室内に患者相談窓口を設けておりますのでご相談ください。



今年もやります、“肝臓病教室”

内科主任医長 白 神 邦 浩

本年度も年4回の予定で肝臓病教室を開催します。

場所は東棟3階会議室で(内科外来の1階上です)、午後2時からの開催です。医師・看護師・薬剤師・放射線技師・理学療法士・管理栄養士・医療事務の中から、テーマに即して毎回3～4名ほどが担当し、約1時間かけてお話いたします。事前の予約等は必要ありませんので、是非気軽にお立ち寄りください。当院へかかりつけの方でなくても構いません。

昨年度は6月・9月・11月・3月に「脂肪肝」「アルコール性肝障害」「検診で見つかる肝疾患」「肝硬変」をテーマに行いました。

今年度の日時及びテーマは下記のとおり予定しています。

最近NASH(非アルコール性脂肪性肝炎)など糖尿病と肝臓病の関連がホットな話題となっております。B型肝炎やC型肝炎については、新しい治療薬がどんどん登場してきて、一昔前とは全く異なる様相を呈しています。また、わが国でも小児に対するB型肝炎のユニバーサルワクチンが始まったところです。検診で見つかる肝疾患については昨年も行ったのですが、ドックに来院される方々への事前通知不足もあり、今年はしっかり聞いていただくということでもう一度テーマに入れました。

当院には 井上 純一名誉院長、松尾 順子内科部長と私 白神の3人の日本肝臓学会肝臓専門医が在籍しており(この規模の病院にしてはかなり多い方です)、様々な肝疾患の患者さんが通院しておられます。少しでもお役に立てればと思いスタッフ一同毎回準備を重ねて実施させていただきますので、たくさんの方々のお越しをお待ちしています。

	日 時	テ ー マ
第1回	6月23日(金)	「これからの肝臓病(脂肪肝と糖尿病)」
第2回	9月29日(金)	「もっと知ろう B型肝炎」
第3回	11月24日(金)	「C型肝炎の最新治療」
第4回	3月9日(金)	「検診で肝臓が悪いと言われたら…」

場所:東棟3階会議室 午後2時から約1時間(事前予約不要 参加自由)

禁煙のすすめ

中四国郵政健康管理センター 所長 澤山 智之

禁煙した人は、ずっと吸いたい気持ちを我慢し続けているのでしょうか？ ずっと吸っている人を羨ましがっているのでしょうか？

実際は、禁煙に成功した人の多くは、吸っている人に対して、むしろ“まだやめてないの？ 禁煙した方が良いのに”と思っています。

禁煙が続く人は、強靱な忍耐力で粘り強く我慢し続けているわけではなく、ただ吸わない方が楽だから、吸わなくても特に困ることがないからその生活を続けているだけなのです。

過去に禁煙の経験がある喫煙者の中にはその事に気づいている人もいます。それでも吸い続けてしまう。そこが“ニコチン依存症”のやっかいなところではあります。ですが、きっかけさえあれば克服できないことはありません。

吸い始めてから一度も禁煙したことがないという人もいらっしゃいますが、そんな人は特に“タバコのない生活”をあらためて体験して、本当に“タバコのある生活”の方が自分にとって好ましいのか考えてみることをお勧めします。



平成29年度 糖尿病教室のお知らせ(4月~6月)

今年度も4月より糖尿病教室を開催しています。

4~6月のテーマは「糖尿病全般」についてです。

教室は午後2時から東館3階会議室（内科外来の上の階）で約1時間開催しています。

どなたでも無料で参加できます。予約は必要ありませんので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。

※日程・講師・講義内容・開催場所については変更がありますのでご了承ください。

月	日	担当者	内 容	テ ー マ
4	13	内 科 医 師	糖尿病とは *糖尿病合併症	糖尿病全般 (糖尿病とは?)
	27	臨 床 検 査 技 師	糖尿病の検査 *HbA1cの指標運用	
5	11	薬 剤 師	薬物療法 *薬物療法について	
	25	理 学 療 法 士	運動療法 *運動療法の必要性	
6	8	看 護 師	日常生活の留意点 *肥満・生活習慣病と糖尿病の関係	
	22	外科医師・看護師	足の血行障害 足の手入れ方法、フットマッサージの実演	

○外来診療日のお知らせ

(が変更部分)

科別	曜日別 診察室	月	火	水	木	金	受付時間		
内科	午前	1	小池(1・3・5)	近藤	正岡(2・4)	井上	白神	初診	再来受付機
		2	井上	井上	井上	児玉	保崎		
		3	白神	保崎	児玉	松尾	児玉		
		4	松尾		保崎				
午後		担当医	担当医	担当医 (禁煙外来)	担当医 (河野)	担当医			
※内科は一部変更になる場合がございますので、外来窓口でご確認ください。									
外科 (要予約)	午前	1		杉山(静脈瘤外来)		杉山(静脈瘤外来)	杉山	整形外科のみ	整形外科のみ
		2	宮出	因来	宮出	宮出	因来		
	午後		手術	予約検査外来	手術	予約検査外来	手術	紹介状 有 11時30分まで 無 10時30分まで	予約 有 11時30分まで 無 11時00分まで
産婦人科	午前		新谷 (初・再診)	新谷 (初・再診)	新谷 (初・再診)	新谷 (初・再診)	新谷 (初・再診)	診療時間	
	午後		新谷 (予約再診のみ)	新谷 (予約再診のみ)	新谷 (予約再診のみ)	新谷 (予約再診のみ)	新谷 (予約再診のみ)		
小児科	午前	1	川野	鎌田	川野	鎌田	川野	面会時間	
	2	鎌田	川野	鎌田		鎌田			
	午後		一般診療 担当医	予防接種(要予約) 予約診療(要予約)	乳児健診 (要予約)	一般診療 担当医	予約診療 (要予約)		
眼科	午前		豊田	豊田	豊田	豊田	豊田	・医師名が書いてあるところは診療日です。 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。 ・医師名が書いてあっても、緊急手術等で 変更又は臨時休診となる場合があります。 院内掲示板、電話等でお確かめください。 (TEL. 082-224-5355 : 医事係)	
	午後		手術	豊田	予約検査	予約検査	豊田		
整形外科	午前	1	進藤	進藤	進藤	松永	進藤		
	2	松永	松永			松永			
	午後		予約外来 (松永)	手術	予約外来 (進藤)	手術	予約検査外来 手術		

※人間ドックや受験・就職等の健康診断、がん検診、予防接種も実施しています(要予約)。

病院のご案内



(交通案内)

- **市内電車**
宇品線、宮島線 (①広島港行②宮島行⑥江波行)
「広島駅」～「八丁堀」下車、白島線に乗り換え
白島線
「八丁堀」～「家庭裁判所前」
電停下車徒歩2分
- **JR**
山陽本線「新白鳥駅」下車徒歩12分
- **バス(広電バス)**
牛田～江波線(6号線)
「広島通信病院前」バス停下車徒歩1分
戸坂線(12号線)
「広島通信病院前」バス停下車徒歩2分
- **バス(広島バス)**
横川駅～広島大学病院(23号線)
「西白鳥」バス停下車徒歩7分
- **アストラムライン**
「城北駅」で下車徒歩7分
- **駐車場あり**

広島通信病院の理念

私たち広島通信病院は、地域及び職域から親しまれ、信頼される医療サービスを提供します。

基本方針

- 患者さま第一の視点で、満足される医療サービスの提供に努めます。
- 新しい医療技術の修得、充実したチーム医療で信頼される質の高い医療サービスを提供します。
- 地域及び職域から頼りにされる病院として、病診連携に努め経営基盤を強化します。
- 社員は患者さまサービス向上に向けて研鑽し、自らの成長と患者さまの満足に共有できる医療環境を創ります。

広島通信病院だより 第124号

発行年月 2017年4月
編集発行者 広島通信病院
〒730-8798 広島市中区東白鳥町19-16
TEL (082) 224-5350